

西川産業(株)品質管理室	池田 努 様	
アサギ(株)取締役東京支店長	浅黄 利洋 様	
日本ふとん製造協同組合専務理事	只野 悟 様	
富士ベッド工業(株)取締役営業部長	小野 弘幸 様	
まくら(株)代表取締役社長	河元 智行 様	
(一財)ボーケン品質評価機構東京主任	丸山 智生 様	
(一社)日本寝具寝装品協会専務理事	奥谷 孝良	中村 富夫

## JBA 第 5 期 : 第 2 回まくら部会 議事録

### 記

1. 開催日時 平成 30 年 5 月 21 日 (月) 13:30~15:30
2. 開催場所 (一社)日本寝具寝装品協会 日本橋小舟町事務所内  
東京都中央区日本橋小舟町 7-2 小舟町 243 ビル 7F ☎ 03-6661-0213
3. 議題(1) まくら品質表示規程案への意見募集について
  - (2) JBA まくら品質表示運用策について
  - (3) 次期検討課題 高さ表記について
  - (4) その他 (J∞QUALITYまくら認証基準等)

### 議事録 議題 (1)

池田部会長：(資料あり) 4 社 18 項目の意見募集があった。1 項目ずつ検討していく。

使用範囲が広いまくらも見受けられ、どの 5 分類に該当するのかは、主たる部位の分類とし、運用規程にその旨記載する。

河元委員：頭を乗せることの出来る抱きまくらは、分類は 抱きまくら でよいと思う。

浅黄委員：介護用途のまくらも共通部分多いので、一般まくら同様とする。

小野委員：オーダーまくらも規程適用できるので、臨機応変に対応して頂きたい。

池田部会長：募集意見にある 3 種類以上の詰めもの使用まくら名称は、従の筆頭詰めもの名等入り主詰めもの名まくらとする。

また、重量比での主従判断は見ためとの違和感があるとの意見が多い。

丸山委員：詰めもの主従は、重量比、容積比、性能(支える機能)比があるのではないか。

消費者目線で判断すると、見掛け容量比 で主従詰めものを決めるのがよい。

池田部会長：63×43cm がレギュラーサイズの意見があるが、ミドルサイズでよしとする。

また、規程 6 サイズ以外のまくらは略称記載できない意見もあるがこの 6 サイズでいくことにする。

池田部会長：詰めものが多種の場合、組成詰めもの欄の表記は 図解表記でもよしとする。

池田部会長：ISO規格の絵表示なので、全て×印絵表示を記載することを推奨する。

中村 JBA：分類、名称、品名と詳しすぎる項目なので、シンプルに 品名まくら でよいのではないか、という意見がある。

池田部会長：野放しの各社各様表現を、今回標準化することにこそ本来の意味がある。  
今回の意見への返答を JBA ホームページ掲載と、意見 4 社には文書にてお送りするのがよい。

#### 議題(2)

奥谷専務：まくら品質表示規程を遵守表記製品には、JBA 認証まくらラベルを添付し普及策としたい。

進行中の掛けふとん、ウレタン敷、まくらの新表記規程を一体的に 6 月 21 日 JBA 総会で説明して、7 月には百貨店、チェーンストア、通販業界にも説明し、8 月東京、大阪等での業界説明会実施して、10 月展示会発表、2019 年春製品から市場導入し、1 年間の猶予期間を考えている。

GF ラベルはふとん品質表示規程に基づいた発行であるので、まくらも同様にグッドまくらラベルを JBA 会員に加盟して頂き発行していきたい。

入会規程を設け出来るだけ入会しやすい会費にして、業界一体化活動としたい。  
次回までには、池田部会長と運用回り含めて検討していきたい。

#### 議題(3)

池田部会長：まくらの高さや硬さの評価については、次回検討とする。

#### 議題(4)

中村 JBA：(資料あり) J∞QUALITY まくらの企業と商品認証基準の打合せを 5 月 30 日 J∞QUALITY 事務局と実施する。2019 年度は、J∞QUALITY 海外輸出計画年度でもあるので純国産証明ラベルとし国内外の需要創出策として活用してほしいものである。  
11 月には、中国政府主催「第 1 回：上海輸入博覧会」開催の話もある。

池田部会長：次回部会は、6 月 18 日午後 1 時 30 分～開催とする。

以上